

## ※健康診断受診者様用説明書

研究課題名：

「健診残余血清を用いた都市部及び非都市部住民における経時的な新型コロナウイルスの血清疫学研究」

に対するご協力をお願い

国立感染症研究所（研究代表者：新井 智）では、国立感染症研究所「ヒトを対象とする医学研究倫理審査委員会」の審査を経て所長が承認した「都市部及び非都市部住民における経時的な新型コロナウイルスの血清疫学研究」に関する研究を行っております。本研究への協力を望まれない方は、その旨を健診を受けた施設までお申し出下さいますようお願いいたします。

### 1. 対象となる方

西暦2022年11月から2023年3月31日までの間に公益財団法人結核予防会 結核研究所、公益財団法人結核予防会 総合健診推進センター、公益財団法人岩手県予防医学協会で健康診断を受診した18歳以上の方。

### 2. 研究課題名：

承認番号 1477

「健診残余血清を用いた都市部及び非都市部住民における経時的な新型コロナウイルスの血清疫学研究」

### 3. 研究実施機関

共同研究機関	研究責任者
国立感染症研究所(主機関)	新井 智 (研究代表者)
公益財団法人結核予防会 結核研究所	吉山 崇
公益財団法人結核予防会 総合健診推進センター	中西 好子
公益財団法人岩手県予防医学協会	武内 健一

### 4. 研究の目的と方法：

2019年12月以降中国湖北省武漢市を中心に発生が確認されている新型コロナウイルス感染症は、世界的に大きな問題となっています。現在、診断された患者情報は国に報告されておりますが、軽度または症状がない方や症状があっても医療機関を受診しない方は報告されておらず、正確な患者発生状況ははっきりしておりません。

そこで、本研究では、新型コロナウイルスに対する血清抗体保有率から現時点の患者や発生状況の把握を目指しております。本研究の結果により、感染の実態が明らかになることが期待されます。国立感染症研究所に収集される情報は、年齢と性別と抗体価のみで個人の特定は出来ません。よって、研究の成果が学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることは一切ありません。

公益財団法人結核予防会 結核研究所、公益財団法人結核予防会 総合健診推進センター、公益財団法人

岩手県予防医学協会健康診断を受けた方の検査に使用した残余血清を用いて新型コロナウイルスの抗N抗体および抗S抗体を測定いたします。検体の管理はIDで行われ、年齢、性別以外は分からない状態で管理されます。18歳以上の方を選別し、毎月最大各施設3,900検体を対象に抗体価を測定します。

**研究に利用する試料・情報：**

年齢、性別、健診で採取された血清を用いて得られた新型コロナウイルスに対する抗体価  
(個人情報を含みません)

**試料・情報の管理について責任を有する者：**

情報の管理：国立感染症研究所 感染症疫学センター 新井 智

**※お問い合わせ先：**

〒162-8640 東京都新宿区戸山1-23-1

国立感染症研究所 感染症疫学センター

第十一室長 新井 智 (研究代表者)

メール： [arais@niid.go.jp](mailto:arais@niid.go.jp)

TEL： 03-5285-1111 内線 2059

FAX： 03-5285-1129